

ねいの里 ホオホオニュース



月日	テーマ	場所	定員	時間
5/10(日)	バードウォッチング (富山県・日鳥連 富山支部自然塾の会 共催)	野鳥の園・古洞池	なし	8:00~12:00
6/13(土)	囲炉裏とヘイケボタル観賞 (自然塾の会共催)	ねいの里	なし	18:30~20:30
6/28(日)	オオムラサキの観察	ねいの里	なし	8:00~12:00
8/23(日)	星座とクツワムシを愛でる	ねいの里	なし	18:30~20:00
10/10(土)	キノコ狩りとキノコ汁を愛でる	ねいの里	300名	9:00~13:00
12/6(日)	キノコづくりにトライ	ねいの里	20名	9:00~11:00
1/4(月)~6(水)	春の七草を愛でる(七草の頒布) (自然塾の会共催)	ねいの里	200セット	9:00~17:00
3/14(日)	春一番の生き物(自然塾の会共催)	ねいの里	なし	9:00~13:00

生き物セミナーとピオトープづくり

7/5(日)	生き物との共生セミナー(自然塾の会 共催) ジュニアナチュラリスト研修(同時開催)	定員: なし 場所: ねいの里	9:30~15:30
10/3(土)	外来種除去(自然塾の会 共催)		9:30~13:00

特別展示

テーマ	期間	テーマ	期間
日鳥連富山県支部写真展	4/2(木)~ 5/14(木)	ねいの里キノコ写真展	9/2(水)~ 10/22(木)
愛鳥ポスター展	5/23(土)~ 6/22(月)	ネイチャーフォト展1 ナチュラリスト協会写真展	10/23(金)~ 11/19(木)
環境月間ポスター展	6/29(月)~ 7/27(月)	いちよん会 自然写真展	11/22(日)~ 12/13(日)
自然保護協会 環境写真展	8/1(土)~ 8/31(月)	春の七草実物展	12/7(月)~ 1/15(金)
県内のカブト・クワガタ・淡水魚展	7/17(金)~ 8/31(月)	ネイチャーフォト展2 自然塾の会写真展	12/17(木)~ 3/18(木)

ジュニアナチュラリスト関連行事

ねいの里の研修	7/5(日)・7/25(土)	有峰の自然を探る(アサギマダラ等調査)	9/6(日)
有峰研修	8/8(土)~8/9(土)	ロシア渡り鳥調査	8月~9月

里っこ山っこにっこに

私のジュニアナチュラリスト活動

田原 胤(つづき)君



僕はジュニアナチュラリストに5年生で入りました。生き物は小さい頃から好きで、よく家で飼育して観察していました。その中でも両生類や爬虫類が好きで、特にサンショウウオが好きです。サンショウウオはねいの里に来るようになって知りました。僕が今一番興味があるのはホクリクサンショウウオです。ホクリクサンショウウオは、丘陵地や低山の水溜り、溝の周囲に生息しています。

僕は去年の夏休みにヒバカリの飼育観察を行いました。その時にヒバカリの色々なことが分かりました。最初は30センチ位の小さなヘビだと思っていたけれどどんどん大きく成長します。いろいろな生き物を飼育観察すると調べた生き物の生息環境などが分かっていい経験だと思っています。これからもたくさんの生き物を研究してみたい。

活動をふりかえり

春の七草頒布

恒例の春の七草頒布が1月4日~6日の三日間行われました。今年は頒布期間中天候に恵まれ多くの予約者に頒布が行われました。頒布状況が報道機関にも多く取り上げられ、当日申込者もあつたため、ねいの里職員は対応に奮闘させられました。さいわい今年は積雪もなく追加採取を順調に行うことが出来ました。皆さん申し込みには事前予約限定で行いたかったので、御協力のほど願いたします。



◆ 冬の雪山散策(カンジキハイク)

今日は曇りの予想をしていましたが、暖かく、風もなく晴れた良い天気にも恵まれました。この冬は暖冬のようにねいの里も雪はほとんどありません、雪上観察も出来ないとのことで、藤ヶ池から山道を通りねいの里まで歩くことになりました。

10時30分藤ヶ池を出発、雪はないものの道は落ち葉が積もり、雪解け水の通り道になり、じゅくじゅくのずぶずぶの状態。でも大丈夫、長靴を履いているので足取りも軽かった。泥道が過ぎると、こんどは一步でも踏み間違えると奈落の底、ならぬ藤ヶ池の湖面が十数メートル下に迫ってくるような怖い道。その後は、道がだんだん薄くなっていく。倒木、中低木が生え道を塞ぎ、湿地が側にあるので歩き易いと思いついた人がいたら“あつ其処は 底無しだよ”と言われて慌てて足を岸に移した人もいた。先頭に立った人が“以前下見?にきた事あつたけどな~、でもあの時小学4年の息子が今、大学生だから~、11年くらい前になるかな~“だって! そこで 活躍したのが携帯GPS(全地球測位システム)でした。あのような山の中でも位置がかなり正確に出たのには驚きです。途中植物の名前や違いなどを教えていただき楽しい、ちょっぴり冒険した散策でした。 記: 松任 力



毎月第1土曜日が活動日です。

塾の会活動日のうち、ねいの里との共催行事には参加予約が必要です。
 お気軽にねいの里へお越しください！ (都合のよい時間だけの部分参加も歓迎です。)
 昼食は各自ご持参ください、炭焼き小屋の囲炉裏をかこんでわいわい楽しく食べましょう。

3月7日(土)	4月4日(土)
○ 午前10時 ~ 12時 自然塾の会総会。ホクリクサンショウウオ産卵観察会。	○ 午前10時 ~ 12時 ・ギフチョウとデート・園内整備 ギフチョウやお花を見ながら園内を整備します。
参加者/定員なし	参加者/定員なし

~ねいの里行事予定 案内~

- 5月10日(日) 8:00 ~ 12:00
バードウォッチング (富山県・日鳥連富山県支部・自然塾の会 共催)
野鳥の園・古洞池
- 6月13日(土) 18:30 ~ 20:30
囲炉裏とヘイケボタル鑑賞 (自然塾の会 共催)
- 7月5日(日) 9:30 ~ 12:00
生き物との共生セミナー (自然塾の会 共催)

■ 特別展示

- 4月 2日 ~ 5月14日 日鳥連富山県支部写真展
- 5月23日 ~ 6月22日 愛鳥ポスター展

■ お願い ■

- 会員の駐車場利用について
 会員の方は、「ねいの里」行事への参加や施設の利用を前提に、休祭日の「いこいの村」駐車場利用料金が無料となっています。会員の方が駐車される場合は、ナチュラリスト駐車場の利用をお願いします。

発行 生き物ふれあい自然塾 塾長 湯浅純孝
 〒939-2632 富山県富山市婦中町吉住1-1 自然博物館ねいの里内
 Tel 076-469-5252 / メールアドレス shizen@toyamap.or.jp
 ホームページ <http://www.toyamap.or.jp/shizen/>

ふくろう通信

第13号
 2009年 3月 1日
 生き物ふれあい自然塾



今日のふくろう先生は

清水 儀正さん (自然塾の会副会長)



里山考 [老人の戯言(たわごと)]

最近、里山が荒れていると人の口端にのぼるようになったが、里山周辺の村に住む人がどんどん減って都市部に人口が流出し、自然の豊かな村では限界集落化が進んでいる。このまま放置すれば、いづれ廃村になる事が心配されています。もともと、村集落と背後の里山は我々の祖先が2~300年かけて生活手段の農林業を営むために手をかけ育て守ってきた自然です。

今では、国も地方も経済効率優先を目指し、農林漁業のような第一次産業に目を向ける事もなく便利な都市生活と工業製品の集中的な生産方式を追求してまいりました。ところがここへ来て地域の連携が薄れて、共同体がスムーズに廻らなくなってきて、再度住民も行政も村共同体の機能を見直したわけでありますが、いかんせん人口の急激な減少に伴い、生活のインフラが失われており何とか改善しなければいけないと気付いたわけです。

今後、地域活性化のにない手になるのが、その土地の住民であり、農林業等の第一次産業を再度興すべく、活力にあふれた若者達を中心とした勤労年令層の世代の方を、地域ごとに集約していくことが緊急の課題となって来ました。しかし今でも地方の農林業につく若年層は皆無の状況で、あきらめムードのみが先行しております。

ここに来て、世界的な金融と経済不況の波がわが国の津津浦々まで押し寄せ、定職を持たない失業者が増大している昨今であります。

この時期にあたり、埋もれていた地域社会との活性化をはかり、農林漁業を支柱として、多くの人々の受け皿事業を起こしてもらいたいとせつに願っている次第です。

自然情報

マンサクが咲きました	ヤマアカガエル産卵	ホクリクサンショウウオ産卵
2月13日マルバマンサクが咲き始めました。昨年3月8日	2月6日産卵が確認されました。昨年2月11日	2月25日産卵が確認されました。昨年3月3日